

済生会熊本病院 連携広報紙

# SAIKURU

サイクル

CONTENTS

トピックス

10月外来医師一覧表

休診のお知らせ／紹介方法のご案内

外来紹介患者FAX依頼書

## SAIKURUとは

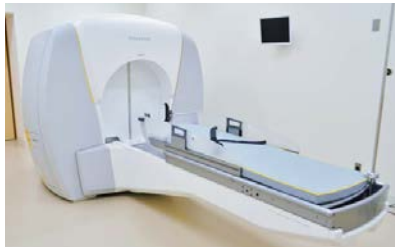
地域及び連携医療機関とのつながり(サークル、サイクル)を大事に、患者さんを中心とした医療を提供していきたいという意味を込めています。

## ガンマナイフ バージョンアップ

### ガンマナイフの適応

転移性脳腫瘍(多発性病巣にも対応可能)、脳腫瘍、脳血管奇形、三叉神経痛(2015年7月に保険適応)など。

約200方向から一点の病巣めがけて照射、病巣を取り除く。



2016年1月より「ガンマナイフ・パーフェクション」(頭部専用の定位放射線治療機器)を導入し、150症例以上の治療を行いました(8月31日現在)。当院は1999年1月にガンマナイフを導入し、熊本県内唯一のガンマナイフ治療施設としてこれまで3,500症例超の治療を行って参りました。今回の最新機器へのバージョンアップにより、治療時間は従来の約「10分の1」にまで短縮し、自動稼働式のベッドが0.1mm単位で精密に動く

ため、治療途中の患者さんの移動も必要ありません。また、専用の治療室は防音壁になっており、好きな音楽をかけてリラックスした状態で治療も行うことができます。さらには、近年のガンマナイフソフトの向上により、手術適応基準でもある3cm以上の病巣における治療成績も上がってきております。

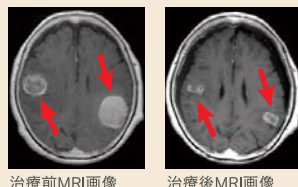
治療は1回約30分～2時間の照射で治療は完了し、患者さんの約8割が入院翌日に退院されます(2016年1月～8月)。入院期間が短縮されると、全身の抗がん剤治療スケジュールへの影響が少なく、日常生活や仕事への早期復帰も可能となります。

### ガンマナイフパーフェクションによる治療の特徴

1. 治療時間・入院期間が短い
2. 自動稼働式のベッドによる精密照射が可能
3. 合併症(頭皮の皮膚炎・骨髄抑制・正常脳の損傷)リスクが低い

#### 多発性脳腫瘍の症例

脳の腫れを伴う2カ所の脳腫瘍のため、麻痺などの症状がありましたが、治療後は腫瘍はほぼ消失し、症状も改善されました。



治療前MRI画像

治療後MRI画像



副院長／脳神経外科部長  
西 徹



ガンマナイフ担当医師  
脳神経外科 後藤 智明



ガンマナイフ担当医師  
脳神経外科 山本 東明

高齢の方や、脳の深部に病巣があつて手術が困難な方も、開頭することなく治療を行うことができます。手術への抵抗が大きく治療をあきらめていた患者さんに、可能性を広げる選択肢の一つとして紹介頂けますと幸いです。

【ガンマナイフ外来】毎日2名体勢で実施。

※事前予約をおすすめします

連携・患者紹介に関しまして、ご不明な点などございましたら地域医療連携室までご連絡ください。

TEL.096-351-8372 FAX.096-351-8505 熊本市南区近見5丁目3番1号

